

社会福祉法人青葉福祉会

令和6年度 法人本部事業計画

一 基本理念

福祉の原点を「自分が幸せでありたいと思うこと。そして、大切な人に幸せであってほしいと願うこと。」と考え、生涯のどの時点においても自立に向かうための環境を提供する「生涯福祉」を理念とし、「乳幼児から終末まで」つながりを持った事業を展開し、幅広い分野の福祉活動を実施することによって地域福祉の向上に貢献する。

そのために、児童福祉事業では「子どもたちの尊厳と習慣を育む」、生活困窮者等の事業では「生活困窮者等の尊厳と習慣の再構築を支援する」、高齢者福祉事業では「お年寄りの尊厳と習慣をお守りする」を実践理念として、各事業を実施する。

二 目標

当会が社会福祉法人の責務を果たし続けていくことは、地域福祉への貢献と同義と捉え、100年続く法人であることを目標とする。

三 戦略

1. 両輪経営の見本となる本部づくり
2. 人材育成と組織づくり

四 戦術（本年度の取り組み）

1. 本部機能の改善（業務）

- ・組織図の見直し（担当業務、指示命令系統の整理）
- ・総務部業務を洗い出し、業務フロー・手順を見直すことで標準化を目指す
- ・給与支給におけるミスを0件にする
- ・労務管理の効率化を図り、既存のシステムを再構築する
- ・文書管理規程に基づき、本部取り扱い書類等を安全に管理保存する
- ・週休3日制、フレックスタイム制の運用管理を徹底する
- ・年間スケジュールの一元管理を行う
- ・事務所内の整理整頓、清掃を徹底する。

2. 本部機能の改善（姿勢）

- ・職員の見本となるよう、働き方の指針に基づき行動する（定期チェック）
- ・現場の困りごとにはスピーディに対応し、遅延なくサポートする
- ・不適切な関わりについてインシデントを活発に上げ、防止に努める（月1件/人以上）
- ・カスタマーハラスメントに関する勉強・検討を開始し、規程作成に備える
- ・本部会議（1回/週）、本部勉強会（1回/月）の定期開催を行う。

3. 収益力のUP

- ・新規事業（看多機、サ高住）開所に向けて指定及び補助金等の各種手続きを滞りなく実行する
- ・学生寮の稼働率向上及び空室活用により収益を確保する
- ・保育事業の収益改善を目指し、課題となっている離職防止と人材確保、定着について強化し取り組む（5、6等級育成）
- ・つながる相談室の黒字化を目指す

4. 法人理念の浸透

- ・誕生月研修等を通じて、職員が法人に愛着を持って自発的に行動するような組織づくりを目指す
- ・虐待防止、不適切なケア、苦情解決の取組み、事故虐待防止について強化する
- ・法人理念の実践に関する表彰等を行う（事例発表会の開催など）
- ・法人の思いや願いをホームページ、YouTube、Instagramなどを活用して発信することを継続する
- ・5、6等級職員との面談を実施する（考課＋不定期）

5. 職員処遇の見直し

- ・職員全員が成長出来る土壌を作る
- ・人事考課に基づき、評価基準及び賞与支給率の見直し検討を行う
- ・アプリ、タブレット等の活用により労働環境の改善を目指す。

6. 経営企画

- ・経営企画室研修を継続しながら、企画立案から実施まで出来る組織を育成する
- ・法人外活動への参加、見学などを積極的に行い、本部職員として視野を広げる
- ・幼成老それぞれの障がい分野の学習及び情報収集を行う

7. 公益的取組の推進

- ・通学支援事業（三居沢拠点）
- ・子どもが集まる場の運営事業（くりくり広場、くりくり子ども食堂）
- ・ボランティア募集の試み（アルテイル宮町拠点）
- ・元気DA そう会の開催
- ・子ども食堂（つながり屋）
- ・施設ごとの公益的取組実践状況を確認し、推進する

8. 法人災害対策BCPの策定

- ・法人全体の災害対策BCPを策定するために月一回の策定委員会を開催する

以上